

【令和8年度ひなたのデータアイデアソン企画・運営業務委託】審査基準表

審査項目	審査基準	合計 配点
1 全体的事項		
事業目的の理解	・事業の趣旨や目的等を十分に理解しているか。	20
1 委託業務内容		
企画・準備	・民間企業、大学生という多様な参加者を効果的に集客する工夫があるか。 ・参加者が分析しやすい形式で、データを準備・整理するノウハウや具体的提案を持っているか。	20
受講者トレーニング	・参加者が、「AI共創とデータ探索」「AIを活用したデータ分析」「AIを活用した政策デザイン」の3つのスキルを無理なく習得できる実践的なカリキュラム構成になっているか。 ・初心者でも迷わない工夫（操作手順書提供や動画教材など）があるか。	20
政策立案アイデアソン	・幅広い年齢層及び多様な参加者が活発に議論できるよう、各班に対する適切なフォローアップの体制やアイスブレイクの工夫があるか。 ・データ分析、予測モデル構築、政策提案の要約、資料構成の各プロセスにおいて、参加者に生成AIを効果的に活用させるノウハウや具体的提案を持っているか。 ・「必要リソース（人・モノ・期間）」を提案に含ませるための指導力、データに基づいた論理的かつ説得力のある提案へと導くアドバイス・メンタリング体制、成果発表会までの進行管理能力があるか。	30
分析・成果報告	・得られた結果の整理、分析及び報告資料としてまとめる知見・技術を有しているか。	10
2 実施体制		
業務の実施体制	柔軟性や即応性を有した現実的な業務実施体制が提案されているか。 環境設定等で、参加者へのサポート体制はあるか。 (参加者募集等、事業全般において県との役割分担の提案がある場合は、必要に応じて提案書に記載してください)	15
事業実施に必要な専門知識や情報	当該事業を実施するために必要な専門的知識や情報・知見を有しているか。	15
類似業務の実績等	過去に類似する業務の実績を有しているか。 (業務実績については、業務概要及び業務遂行時に得られた知見、課題等を簡潔に整理)	10
3 その他		
追加提案	上記のほか、独自の提案があるか。 当該提案は、今後、県での活用が期待できる優れた提案であるか。	5
1と2の合計		145

見積金額による加算点

審査項目	審査基準	配点
本業務にかかる見積金額について	加算点 = (1 - 見積金額 / 上限金額) × 10 ※小数点第3位以下切り捨て	5